

男声合唱団「昂」ファーストコンサート

うたに生き！歌に生き！

男声合唱団「昂」



2004年2月22日（日）
2：00開場 2：30開演
クレオ大阪中央

◆◆◆プログラム◆◆◆

第一部

- ◇春を待つ 組曲「雪明かりの路」第一曲
伊藤 整・作詩 多田武彦・作曲
- ◇サッカーによせて
谷川俊太郎・作詩 木下牧子・作曲
- ◇雨
男声合唱組曲「雨」より
八木重吉・作詞 多田武彦・作曲 ソロ・中島 眞
- ◇淀川三十石舟唄
ソロ・乾 正明
- ◇見上げてごらん夜の星を
永 六輔・作詩 いずみたく・作曲
- ◇ヴォルガよりドンへ
ホフローノフ・作詞 ザスラフスキー・作曲
ソロ・富樫龍一／樋渡 誠
- ◇道
L.オシャーニン・作詞 A.ノビコフ・作曲
中央合唱団・訳詞 ソロ・浅井和夫
- ◇白樺
V.ラザレフ・作詞 M.フラトキン・作曲
関 鑑子・訳詞
- ◇ヴォルガの歌 映画「ヴォルガのほとり」より
オストローフ・作詞 モクロウソフ・作曲

第二部

<ゲスト 孫 曼さんによるアコーディオン独奏>

- ◆花と少年
中国青島省民謡
- ◆小さな林檎
ロシア民謡
- ◆スペイン闘牛士舞曲
- ◆ハンガリア舞曲
- ◇みんな元気か
山ノ木竹志・作詞 たかだりゅうじ・作曲
土肥永津子・ピアノ編曲
- ◇未来をかけて
斎藤清己・作詞/作曲
- ◇男声合唱組曲 地底のうた
荒木 栄・作詞/作曲 本並美徳・編曲
ソロ・千秋昌弘
- ◇阿拉木汗（アラムーハン）中国ウイグル族民謡
佚名・採譜 謝 功成・編曲
- ◇I've got Six Pence（水夫の労働歌）
福永陽一郎・編曲 古荘雄二・訳詩
土肥永津子・ピアノ編曲
- ◇昂
谷村新司・作詞/作曲 男声合唱団「昂」・編曲

指揮・編曲／本並美徳(Yoshinori Motonami)
指揮／伊藤 知 (Satoru Ito)
ピアノ・ピアノ編曲／土肥永津子 (Etsuko Dohi)
アコーディオン／孫 曼(Sun Man)
司 会／伊藤 文(Aya Ito)

別冊



◆◆◆孫曼さんのプロフィール◆◆◆

孫曼さんと私たち「昴」との出会い、2001年に「紫金草合唱団」の南京公演の時でした。「紫金草物語」は、1937年日本軍国主義者の南京侵略を深く反省して再び侵略戦争を起こさない、「不亡歴史 面向未来」と、日本人の良心をテーマにした組曲です。

南京市政府外事弁公室の職員の孫曼さんは、この公演成功のために大変御尽力を頂いた方です。

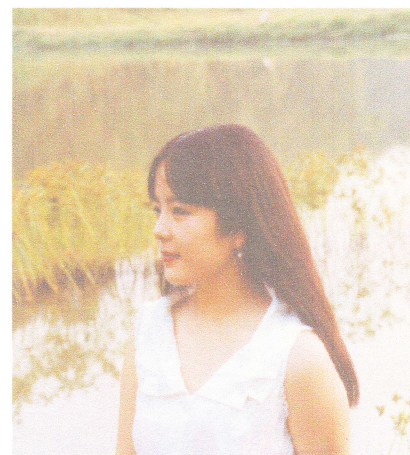
当時の南京市といっても数年前のことですが、孫曼さんは舞台の幕が上がるまでこのコンサートが成功するかどうか判らないといっていました。演奏が終わると客席から大きな、鳴り止まぬ拍手でした。「日本人は鬼だ！」の声で「鬼でない日本人がいる！」に変わったのです。その夜コンサート成功のお祝いの会が中国の方々も参加して持たれました。その時に孫曼さんが、指揮者の本並が持っていたアコーディオンを貸して下さいと言って、余興で演奏をされたのです。本並は「すごい、この人と日本でコンサートやりたい！」と、

この時の孫曼さんの深い印象が今日のコンサートになりました。

＜孫曼さんからのメッセージです。＞

「紫金草に出会ってからまるで人生が変わったような気がします。日本の皆様の平和に対する思いを中国の人々に伝えることこそ、一番の中日友好だとよく分かりました。これからの微力ながらこの目標（真の中日友好と相互理解に達すること）に向かってがんばって行きたいので、どうか皆様も応援して下さい。」

最後に孫曼さんを公務としてコンサートに参加させて下さった、南京市政府の関係者の御好意に深く感謝いたします。（石川 澄 記）



孫 曼さん

略歴 1972年 南京生まれ、南京芸術小学校紅花芸術団として名古屋公演。
1991年 名古屋大学文学部入学。
1995年 名古屋大学文学部卒業。すぐに南京市政府外事弁公室勤務。日本人との交流担当。

大阪昴男声合唱団の皆様

この度ファーストコンサートのご開催おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

3年前、団長の藤後様と、幾人かの皆様が紫金草組曲を歌いに南京に訪問し、その後は紫金草の物語が南京そして中国で有名になって、紫金草を通じて中日両国の国民は相互理解と友情を深めることができ、これは非常に喜ばしいことです。

三年前の南京コンサートの準備に全力をあげてがんばった当協会の職員孫曼、実は子供時代は中国の子供の宝塚と言われる南京紅花芸術団で訓練を受けて、プロ並みのアコーディオン演奏者です。この度ご招待に預かり、大阪へ皆様のコンサートに参加に行くことができ、心から感謝を申し上げます。

今回のコンサートを通じて、皆様と南京市の絆がますます強くなりますように、今後も皆様の歌を通じての平和運動がますます盛んになりますように祈念しております。最後にコンサートのご成功を祈ります。

南京市人民対外友好協会 副会長 孫文学

2004年2月9日



三池炭鉱

地底のうたについて

＜日本の労働者階級の創造と日本のうたごえ運動10数年がつくりだしたものの達成の頂点＞とされる「地底のうた」は、三池闘争を描いた、序章と4つの楽章からなる男声による組曲で、1961年1月全国にさがけて団員倍加を達成した三池宮浦合唱団の要請で作曲され、同年11月の宮浦合唱団発表会にささげられ、のち構成詩劇「不知火」にとりいられました。

三池闘争は首切りを阻止できなかったとはいえ、労働者階級と人民の戦闘性・楽天性・規律性・連帯性をいかに発揮し、労働運動の歴史に不滅の1ページをきざった闘いでした。

作曲者、荒木 栄は現場労働者全部の協力をえて現場のなまなましい詩を残らず集め、三池闘争の深い学習と結合させて完成したもので、三池闘争のもっとも奥深い真実をえがくことで闘いの方向を明示しています。また、荒木 栄の全闘争と全創作過程がこめられた達成点でもあります。

この曲を貫いているものは、労働者の解放への確信を最もきびしい現実の中からうたい上げている点にあり、それは技巧をこえて生きぬこうとする人間の強烈な意欲である。

「地底のうた」は日本労働者階級の生んだ現代の革命歌曲であると言えるでしょう。

本日は、本並美徳編曲による新版で歌います。また、新版ではこれが初演となります。

荒木 栄

◆◆◆ごあいさつ◆◆◆

本日はお忙しい中、男声合唱団「昂」ファーストコンサートにおいでいただき、団員一同心より厚く御礼申し上げます。

大阪のうたごえのOB・現役の有志で、初めて待望の男声合唱団を立ち上げてから、早くもこの3月で満4年を迎えます。

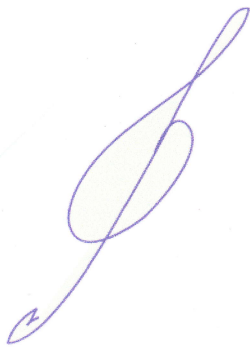
この間、一回も練習を欠かすことなく、お互いに励ましあってがんばり通し、恵まれた指揮者・ピアニスト、それにも増して、意気揚々のメンバー！！、の環境の中で毎回活気と熱気に包まれた練習が繰り返されてきました。その甲斐あってか、初出場の一昨年と昨年、つづけて「日本のうたごえ」祭典合唱発表会一般の部で入賞することができ、これまでの出演依頼もロシア民謡合唱団「コスモス」女声合唱団「レインボーコーラス」等につづき、来る5月30日のL I Cはびきのホールでの「第5回河南混声合唱団演奏会」に、賛助出演させていただくまでに成長しました。

これは、団員個々の努力はさることながら、家族をはじめ、皆様方のご支持・ご支援があったからこそと思っています。

今日は、これまでの練習の成果を出し切って、男声合唱ならではの魅力、洪さ、ハーモニー。そして、男たちのこよなく歌を愛し、歌に励まされてきた人生の旅路―「うたに生き！歌に生き！」の思いとその歌声の響きが、みなさまに伝わればと願って一所懸命歌います。

まだまだ未熟な点もございますが、最後までごゆっくりお楽しみくださいませ。

男声合唱団「昂」団長 藤後博巳



◆◆◆昂のメンバー紹介◆◆◆

★テノール1

伊藤 知 立川孝信 千秋昌弘 樋渡 誠 本並美徳
*岩本廣便

★テノール2

石川 澄 奥村克美 中寫 眞 馬場 宏 舞弓義紘

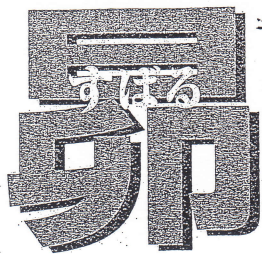
★バリトン

岡邑洋介 清水恭太郎 富樫龍一 仲谷増広
橋本邦久 林 弘訓

★バス

浅井和夫 *石橋章一 乾 正明 相根義治 藤後博巳
広瀬禎男 *土井一正

*は地底のうたのみ



ファーストコンサート

No. 9

ファーストコンサートを成功裡に終えて

団長 藤後博巳

まず初めに、コンサートの大成功を心から祝い、その喜びと感動を今一度ともに分かち合いたいと思います。成功のために全力を注いで奮闘されたみなさんに感謝の意を表させていただきます。コンサートの成功は130人ものアンケートがそれを如実に物語っています。その中で団に寄せられた多くの方々の賞賛、激励、批評、すべてが今後の団への期待、充実、発展、への思いが込められており、大阪のうたごえ運動の地域で初めて男声合唱団を立ち上げたその意義が高く評価されたと自負しています。

私たちはこの貴重な体験や真摯な提言を決して無にすることなく、これを糧としてさらに団結を固め、団員を増やして力強く羽ばたいていくことを切望してやみません。共に頑張りましょう。



孫曼さんからの郵便

この度は大阪で大変お世話になりました。おかげさまで、皆様と素晴らしい舞台を経験することが出来て、一生の思い出となりました。皆様に心からお礼を申し上げます。

中国で男声合唱を聴く機会が少なく、今回すっかり皆様のファンになりました。時には力強く、時には優しく、時には切なく、団員一人一人がこよくて素敵でした。雨・白樺・無縁坂を聞いたとき涙が出るほど感動しました。こんな格調高いコンサートに参加できたことを大きな幸せに感じております。帰ってからも職場や家族とその喜びを分かち合いました。

今日、出勤途中に綺麗に咲いている紫金草を見ました。皆様の北京公演のご成功を心から祈ります。今後もお体に気をつけて素晴らしい演奏活動を継続されますように遠い南京からお祈りしております。

本当にありがとうございました。



入場者数結果

○もぎり券（入金済み） 504人

○当日券 44人

○当日精算券 220人

○招待券 35人

合 計 803人

入団相談者 1人 若園さん

曲集販売数 38

花束プレゼント 30

アンケート 140

出演依頼

3/20 (土) 9時	大阪城公園太陽の広場	世界反戦共同行動
4/3 (土) 1時	吹田メイシアター3F	オール松下春のつどい
4/23 (金) 6時	クレオ西	スクラムコンサート
5/30 (日) 2時	リックはびきの	河南混声コンサート
☆12/5 (予定)		平野文化フェスティバル

活動日程

3/7 (日) 9時30分	音楽センター	大阪のうたごえ総会
3/14 (日) 11時	野崎	千秋昌弘事務所開き
3/15 (月) 2時	神戸ポートピアホテル	孫曼さん来日
3/21 (日) 2時	興隆園	昴レッスン
4/2 (金) 6時30分	興隆園	昴レッスン

一感想文一

宝 木 実

音楽的ボキャブラリイが多彩で豊かな心温まるコンサートだった。

その演奏は、寒さに震える庶民の心をあたため、優しくいやし、生きる力を一杯与えてくれた。素晴らしいコンサートだった。

ゲスト孫曼さんのアコーディオン・ソロと伴奏は、その温かな人間性、芸術と平和を愛する高潔な魂に美しく輝き、心洗われる思いがした。南京小紅花芸術団でオーソドックスなアコーディオン技法を学び、その音楽性の豊かな才能と修練の積み上げの厳しさを耐えぬき、毎日・毎日、訓練に励んだ確かな技法を身につけている。アコーディオンの独特な演奏技法を自在に駆使し、アコーディオンという楽器の楽しさと表現力の豊さを見事に演奏した。